



2020年 新年のご挨拶 世界YMCA同盟総主事 カルロス・サンヴィー氏

皆さんと共に歩みを始めて1年がたちました。

2019年は多くの若者が、人類最大の課題—気候変動、経済格差、激動の民主化の動きなど—に挑む姿を見てきました。若者は、嵐のように世界を隅々まで席卷しています。彼らの声によって、私たちの目と心が再び開かれています。2019年、私たちは175年にわたる素晴らしいYMCAの歴史を祝いました。

私たちの運動は、広大で果てしない海のようなものです。常に動き続け、その波が凪ぐことはありません。もし波が凪いだとしても、その下の深いところの流れは絶えません。ここ数か月の間、私は多くのYMCAに招かれ、そのビジョンに耳を傾けました。皆さんにお会いするたびに、皆さんの懐に飛び込む感触を噛み締めました。コミュニティのニーズに応えるためにも取り組むとき、私はまるで故郷のトーゴで15歳の少年に戻ったような感覚を覚えます。当時、レンガや材木をひとつひとつ積み上げるように、YMCAを築きました。コミュニティのニーズに基づいて、私たちのビジョンを実現するための組織づくりを行いました。そのようなとき、私はすべての人が大切にされる場所というものを実感したのです。40年後の今も、YMCAにおける私の信念とそれが描く一人ひとりの未来はゆるぎないものです。

YMCAは常に一人ひとりが大切にされる場所です。しかしながら、若者の声として、彼ら・彼女らを未来へ導いてくれるはずの体制やリーダーへの信頼が失われているということがあるのも知っています。世界の至る所で信頼関係の危機が起こっていることが見てとれます。YMCAは若者の信頼を取り戻すことを目指す運動体にならうではありませんか。信頼は過去の栄光の

上だけでなく、現在の謙虚かつ大胆な献身の上に築かれるものです。これまで通りのやり方では、若者の信頼を取り戻すことはできません。過去を変えることはできませんが、未来を作ることはできます。そして過去から学び、前へ進むとするのであれば、私たちは過去を真似たり再現しようとしたりしてはいけません。

潮目は変わり続けます。未来は常に私たちの足元にあります。未来に向かって舵を切るために、もう一度、私たちの革新的な協働を呼び掛けたいと思います。水平線へ目を向けなければなりません。私たちの活動をあらゆるレベルで実施しなければなりません。生産的な対話を通して、2044年に向けて皆に進むべき方向を示す私たちの北極星を明らかにしていなければなりません。私たちの運動の優先課題として、ユース・エンパワーメントを継続することを約束します。そしてテクノロジーをもっと活用し、より効果的で協働的な方法で対話することができるよう努力します。新しい年の始まりにあたり、私は運動のあらゆるレベルで、皆さんとの信頼関係の構築に努めます。ともに勝利を喜び、同時に答えが分からないとき、不確かなときには正直に伝えます。理事長のパトリア・ペルトンおよび世界YMCA同盟の理事会に代わり、平和で意味のある2020年になりますように、また、皆さんが神の平和と愛とともにいつも歩むことができますよう、心からお祈り申し上げます。

Happy 2020

世界YMCA同盟ホームページより
<https://www.youtube.com/embed/aY4OMMnx0Qo>

#緊急レポート オーストラリア・森林火災

— オーストラリアYMCA CEO
メリンダ・クロイエ氏



↑多くの野生動物も犠牲になっています

昨年9月から続くオーストラリア森林火災によるオーストラリアYMCAの被害は甚大です。ビクトリア州、ニューサウスウェールズ州、首都、南オーストラリア州、それぞれにあるYMCAでは、スタッフの避難や施設の一時閉鎖などの緊急対応を行っています。加えて、安全が保たれているYMCAのセンターを、周辺地域住民のための避難場所として提供しています。

「中長期的には、被災地域のニーズにあわせて生活再建、福利厚生を支援していく予定です。私たちには2009年の森林火災のときにも同様に地域の再建に携わってきた経験があります。」（メリンダ・クロイエ、オーストラリアYMCA CEO）

http://ymca.org.au/news/Pages/default.aspx?item_id=4689

世界YMCA同盟ニュース 「第1回世界ノンフォーマル教育 フォーラム」に参加、共同声明を出しました！

2019年12月17日にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された第1回世界ノンフォーマル教育フォーラムに、YMCAからも参加しました。

YWCA、ガールスカウト、ボーイスカウト、赤十字赤新月社、デューク・オブ・エジンバラ・アワードとともにBig 6 Youth Organizationと呼ばれるYMCAは、共同声明を出し、学校に通えない子どもたちが2億6千万人と言われる世界的教育危機において、ノンフォーマル教育がいかに重要かをアピールしました。

<https://www.ymca.int/ymca-attends-first-world-non-formal-education-forum/>

#世界のYMCAニュース

アドボカシー マダガスカル環境保全



↑国連ユース気候サミットに関連するイベント案内

アフリカ大陸の東に浮かぶ島マダガスカルは世界で最も貧しい国の一つと言われ、仕事がない、医療機関がない、十分な食べ物がない、という状況の中、環境保全は優先順位の低いものでした。

しかし、近年、マダガスカルの若者が国を守ろうと声をあげ、マダガスカルYMCAが多くの若者グループの中でイニシアティブをとっています。

国連ユース気候サミット

2019年9月21日にニューヨーク国連本部で開催されたユース気候サミットに連動して、マダガスカルYMCAに100名を超える若者が集まりワークショップが開催され、2つのことが議論されました。ひとつは、国際レベルでの若者によるアドボカシーの必要性です。もうひとつは、国内での環境意識の啓発活動です。

環境クラブの活動

マダガスカルの首都アンタナナリボの都市環境を守るためのY-Urban Environmental Clubは、リサイクル活動に力を入れ、高校と協働し、ペットボトルの再利用を行っています。リーダーのフェトラは、「神様から与えられたこの土地を守り、子孫に残していきたい。」と語ります。

マダガスカルの若者は、よりよい未来のために種を蒔き続けます。

<https://www.ymca.int/advocating-for-a-better-environment-in-madagascar/>

World
YMCA
NEWS
2020.3

発行
2020年2月20日
日本YMCA同盟
03-5367-6640
info@ymcajapan.org